

市民と厚生文教常任委員会との意見交換会

～深川市PTA連合会との～  
意見交換会報告書



深川市議会  
厚生文教常任委員会

# 意見交換会の開催にあたって

厚生文教常任委員長 田畑 陽美

市民の皆さんとの意見交換会は、コロナ禍で開催できずにいましたが、今回、厚生文教常任委員会では深川市PTA連合会との意見交換を行い、学校教育の情報化により、新しい学習スタイルで学んでいる子供たちの変化や家庭での様子、保護者視点での意見等を聞くことができました。

当委員会では、市内全小中校が学校情報化優良校に認定されている熊本県玉名市を昨年11月に訪問し、教員の働き方改革も含め、先駆的なICT教育の取組について調査してきました。

グローバル化や情報化が進展する社会において、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、新しい時代に求められる資質・能力を、確実に育成していくため、学校教育の在り方も変化してきています。

ICTを活用した学校教育の現状を踏まえ、今回出された様々な意見をどのように市政に反映できるか、当委員会としても考えていきたいと思っております。

意見交換会開催に当たり、ご協力いただいた皆様に改めて感謝申し上げます。

## ・・・・・・・・・・・・・・・・ 開催概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・

○日時：令和6年2月15日（木） 18:30～19:30

○場所：深川市役所3階大会議室

○参加者

深川市議会 厚生文教常任委員5名 ・ 近沢議長

PTA役員 14名 ・ 各学校教頭、教諭 7名

参加小学校	人数
深川小学校	3
音江小学校	2
一已小学校	3
北新小学校	3
納内小学校	3
多度志小学校	3

参加中学校	人数
深川中学校	1
一已中学校	3

..... 意見交換会 次第 .....

1 開 会

2 開会挨拶 厚生文教常任委員長 田畑 陽美

3 自己紹介

4 意見交換

(1) 意見交換

(2) 発表・質疑

5 閉会挨拶 深川市議会議長 近沢 弘幸 様

6 閉 会



・・・・・・・・意見交換のテーマ・・・・・・・・

① 家庭へのタブレット持ち帰りの状況について

～小学校～

- ・週末に持ち帰る場合が多く、ペーパーとの併用で復習や宿題などに使用（デジタルドリルを活用）
- ・長期（春、夏、冬）休業中も持ち帰りしている
- ・長時間の使用や就寝前の30分以降は使用禁止、学習や調べもの以外の用途で使わないよう指導している



～中学校～

- ・普段は持ち帰りの指導はしていないが、テスト前や長期（春、夏、冬）休業、臨時休校となる際などには、持ち帰るようにしている
- ・コロナ禍で自宅待機となる際には、オンライン授業で活用
- ・全教科でタブレットを使用している

② 児童生徒のタブレットを用いた学習の様子や、保護者視点からの意見・感想など

- ・宿題が終わった後にタブレットを見せてもらうが、問題を解く過程がわからない
- ・文字や線を書くことも重要、ペーパーとの併用が望ましい
- ・デジタル社会の中で、子供の頃から慣れ親しみ、学習に取り組めていることはいいこと
- ・家庭のWi-Fi環境が整っていればパソコンと同様に、インターネットの閲覧等が可能なためルール作りが大事

- ・オンラインでの授業は楽しそうだった、居残りで補習授業を受けるよりもオンライン授業の方が楽しく取り組めるのでは
- ・動画を使った授業は好奇心が持てていいと思う
- ・デジタル化もいいが先生との会話も大事にして欲しい
- ・録画した授業を後から見返すことができればいい
- ・小学校在学中に、タイピングの技術も身につけさせて欲しい
- ・ある程度使いこなせるようになればプログラミング等でいろいろセンスを養うこともできるのでは



### ③ 教員視点での考え・課題など

- ・持ち帰ったタブレットの使用履歴などの確認等で教職員の負担となる部分も多少ある
- ・急用の連絡や体調不良の連絡などにも活用できる
- ・予備端末が不足している（故障、破損対応のほか、家に持ち帰った児童生徒が学校に忘れてきた場合の代替えとして使用）
- ・タブレットの活用により、個々の苦手な分野などがデータとして蓄積されるため、援助に役立つ利点もある
- ・授業では、一人一人が発言するよりも効率がいい、全ての児童生徒の考え方を共有し把握できる



以上のような意見がありました。出席いただいた皆様、大変ありがとうございました。